展覧会企画トークイベント
くまもとアートポリス建築展×熊本市現代美術館

「これからの公共建築、災害時のアートインフラを考える」

出演
日比野克彦（熊本市現代美術館 館長）
曽我部昌史（くまもとアートポリスアドバイザー）

くまもとアートポリス
巡回展
みんなの家、後世へつなぐ復興

入場無料

日時	11/27（土） 13:00 - 14:00
場所	熊本市現代美術館（ホームギャラリー）
料金	無料　＊事前申込制
定員	最大 50 名程度

自然災害からの創造的復興、心の復興において、アートや建築が果たす役割についてトークします。

申込方法　熊本市現代美術館へ電話 096-278-7500 かメール gamadas@camk.or.jp で、①参加希望のイベント名　②お名前　③電話番号をあわせてお申込ください。

配信　当日同時間にライブ配信も行います。
QR コードからアクセスください。

日比野克彦

（アーティスト／熊本市現代美術館館長）

1958 年、岐阜県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程デザイン専攻修了。
大学在学中に段ボールを用いた作品で注目を浴び、近年は、各地で一般参加者とその地域の特性や関係性、人々の違いを生かしたアートプロジェクトやワークショップを数多く行っている。東日本大震災時には、「自分も何かできないだろうか？」という思いを抱えた多くの人と、ハートのパッチワークをつくり、それらを繋ぎ合わせてタペストリーにして東北に届ける「ハートマークビューイング」を行った。現在、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授、岐阜県美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員会委員長等を務める。

曽我部昌史

（建築家／くまもとアートポリスアドバイザー）

1962 年、福岡県生まれ。東京工業大学大学院修士課程修了。1995 年みかんぐみ共同設立。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科助教授（2001-2006）を経て、現在、神奈川大学工学部建築学科教授。
設計だけでなく、ワークショップの企画運営や評論の執筆、アートプロジェクトなど、多彩な活動を展開する。主な作品に、「NHK 長野放送会館」（1997 年）、「八代市立高田あけぼの保育園」（2001 年）、「2005 年日本国際博覧会トヨタグループ館」（2005 年）、「マーチエキュート神田万世橋（万世橋高架下開発）」（2013 年）、「モトッパチ｜moto.8」（2019 年）、「奥会津水力館みお里」（2020 年）など。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、イベントが中止、変更になる場合があります。詳しくはホームページ・SNS でご確認下さい。